

第2期八王子市文化芸術ビジョン(素案)についての 意見募集(パブリックコメント)の実施結果

1 パブリックコメントの概要

(1) 募集期間

令和7年(2025年)12月15日(月)から令和8年(2026年)1月15日(木)まで

(2) 意見をお寄せいただける方

ア 市内在住・在勤・在学の方

イ 市内に事務所・事業所を有する個人及び法人、その他の団体

(3) 資料の配布・閲覧場所

学園都市文化課窓口、各文化施設（芸術文化会館（いちょうホール）、市民会館（J:COM ホール八王子）、南大沢文化会館、夢美術館）、学園都市センター、桑都日本遺産センター八王子博物館、市役所本庁舎1階市政資料室、各図書館、市民部各事務所、各市民センター

(4) 提出方法

郵送、FAX、電子メール、WEBフォーム、学園都市文化課窓口への提出

2 意見の集計結果

(1) 提出者数及び意見数

提出方法	件数
(1) WEBフォーム	8件（5名）
(2) メール	0件（0名）
(3) 郵送	0件（0名）
(4) 窓口	1件（1名）
(5) ファックス	1件（1名）
合計	10件（7名）

(2) ご意見の要旨及び市の考え方

次ページのとおりです。なお、いただいたご意見は、趣旨を踏まえて要約しています。

「第2期八王子市文化芸術ビジョン(素案)」へのご意見の要旨及び市の考え方

NO	項目	ご意見の要旨	市の考え方
1	方向性について	子どもには様々な分野の優れた芸術作品を目にする機会を与えたいと考えている。都心まで行かなくても身近な地域で文化芸術を感じられる機会を創出しようとする方向性はよいと感じた。	文化芸術の担い手の育成とともに、子どもたちの創造性や社会性を育むために文化芸術に触れる機会の創出は重要であると考えておりますので、身近な地域で文化芸術に触れられる取組を推進してまいります。
2	方向性について	市民にとってアートが身近に感じられるよう大学とうまく連携を図るとよいのではないかと。	八王子地域に25校の大学等がある全国有数の学園都市としての特色を活かし、文化芸術を活用した街の賑わいを創出できるよう、大学等との連携プロジェクトの拡充・強化に取り組んでまいります。
3	方向性について	目指す姿の1つとして、「市民が誇れる歴史と伝統文化の継承」と挙げているが、継承に留まらず、文化芸術を後世に「つなげる」ことに力点をおいてもらいたい。後世に文化芸術の力、技術をつなぐとともに、同じ志をもった人・団体ともつながりを広げることで、多角的で幅の広い文化の形成ができるのではないかと。	文化芸術の継承は、後世につないでいくことであり、文化芸術活動をする人と支援する人の双方の育成が重要であると考えています。文化芸術活動を支えるため、市や市民、企業など多様な主体が文化芸術活動を支援いただけるよう取り組んでまいります。
4	取組例について	八王子では多くの方が文化芸術活動を行っている。そうした活動についても広く知らせてもらいたい。	方向性3「つたえる」として、文化芸術の良さ・楽しさを伝えるを掲げており、文化芸術への関心が高まるよう、デジタル技術を活用するなど、情報発信、提供に関する施策を進めます。
5	取組例について	方向性1「ささえる」の主な施策1-(2)「身近な場所で気軽に発表ができる機会を提供します」の取組例は、ロビーコンサート以外にないのか。何か別の取組も検討できると良いのではないかと。	ロビーコンサートは、取組の一例として掲載しておりますが、身近な場所で気軽に発表ができる機会を提供できるよう、計画期間の中で幅広く取り組んでまいります。
6	取組例について	芸術活動を行う市民が、八王子の地で活躍できる環境づくりにも配慮をしていただきたい。例えば、学生や社会人が活動場所として会場を予約する際にも使用料や予約手続き等の点で手軽に利用できるよう仕組みがあるとよいと思う。	文化芸術活動の場の確保は、活動する上で重要であると考えております。施設予約システムの改修により、利便性を高めたほか、市内在住の方と市外在住の方で予約開始日に差を設け、より市民のみなさまが利用しやすい環境整備に取り組んでいます。また、適時に行う改修工事などにより、施設を快適に利用できるよう整えるとともに、施設情報の充実により、活動場所の確保に取り組んでまいります。

7	取組例について	郷土芸能の学習は小4と聞いたが、育むのは早い方がよいので小3の郷土学習の中で桑都の杜や西川古柳座の車人形等の伝統芸能に触れられるようにするとよい。ユースオーケストラなどの芸術体験の場も今後も大切にされるとよい。	子どもが文化芸術や伝統芸能に触れる機会を持つことは大切なことと考えています。市内の小学校では、各校の年間指導計画に基づき、6年間で体系的に郷土学習を行っています。そのため、各学校の方針により、体験学習の実施時期等は異なります。一方で全校共通の取組として、八王子の郷土・歴史について学ぶための教材として副読本を教育委員会が独自で作成しており、子どもたちの地域文化への関心を高めるきっかけとして活用しています。今後も芸術体験の場の提供なども含めて、小中学校や関係団体などと連携を図りながら、ビジョンを推進していきます。
8	取組例について	夢美術館に物足りなさを感じている。高尾山麓に自然とも一体化した、しっかりした美術館をつくり、そこを拠点にするといった、具体的な美術館等の整備に関する計画・ロードマップを示してほしい。	方向性4「こたえる」で「文化施設の適切な管理・整備」を挙げています。新たな美術館の設置についてご意見をいただきましたが、現時点では整備の予定がないため、参考といたします。
9	その他	文化芸術ビジョンを作り上げたことを広く市民に知らせてもらいたい。	新たなビジョンをホームページや文化施設などで閲覧できるようにするとともに、概要版を作成して様々な機会を通じて周知を図ります。
10	その他	「桑都の杜」で桑の木にまつわるような何か取組などができると良いのではないかな。	現在、八王子駅南口の医療刑務所跡地では、「桑都の杜」の整備が進められています。敷地内には「桑都」の由来となった桑の木を植樹する予定です。 また、「桑都の杜」内に開設予定の「歴史・郷土ミュージアム」では、同所で育った桑を活用した養蚕及び織物等に関連するイベント等の実施を検討しております。

【問合せ先】

八王子市 市民活動推進部 学園都市文化課
担当: 煤津、高橋

〒192-8501 八王子市元本郷町3-24-1

電話(直通): 042-620-7409